

第6学年 租税教育実践例

登米市立新田小学校

教諭 鈴木健太郎

1 小単元名 「税金の働きを調べる」

2 本時の目標

税金がさまざまな方法で集められ、公共的な事業に使われていることに気付かせるとともに、公共施設の建設や地域の開発、公共サービスには税金が深くかかわっていることを理解させる。また、国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きしているかを考えさせる。

3 本時の評価規準

- ・税金の種類や使い道に関心をもち、進んで調べようとしている。【関意態】
- ・国民生活の安定と向上を図るために、税金がいかに大切な働きをしているかを考えている。【思判表】
- ・資料を活用して、必要な情報を集めて読み取っている。【技能】
- ・税金の集め方や、その使われ方、納税の大切さを理解している。【知理】

4 指導に当たって

本時では、税金の種類やその集め方を理解させ、税金によって国民の生活が成り立っていることに気付かせたい。そして、税金がいかに大切な働きをしているかを考えさせたい。そこで、本時では、「財務省キッズコーナー」のサイトを活用して授業を展開し、税金についての理解を深めさせたいと考えている。

5 本時の板書計画

税金の働きを調べる

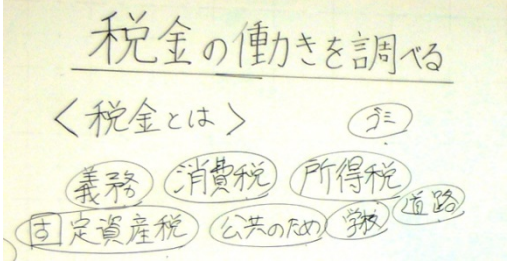


〈税金って何だろう？〉

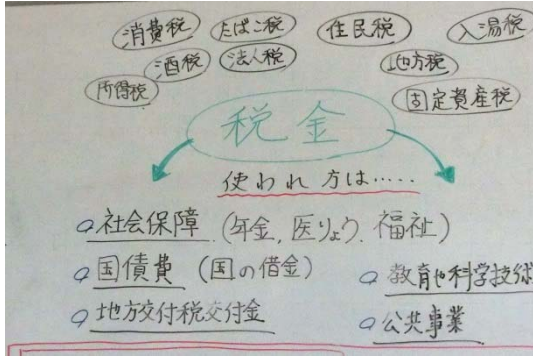
- ・消費税
- ・国や市の予算，国のお金
- ・国会議員の給料（歳費）

税金の種類や集め方，使われ方を調べ，何のために税金があるのかを考えよう。

税金には多くの種類があり，さまざまな方法で集められていることが分かった。そして，税金によって，私たちの生活が支えられていることに気付いた。

6 学習の流れ

| <p style="text-align: center;">学 習 内 容</p> <p>○主な発問 ・予想される児童の反応</p> | <p>○指導の留意点</p> <p>※準備物等</p> |
|---|--|
| <p>1 税金とは何かを考えさせる。</p> <p>○税金って何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・国や市の予算，国のお金 ・国会議員の給料（歳費） <p>2 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>税金の種類や集め方，使われ方を調べ，何のために税金があるのかを考えよう。</p> </div> <p>3 調べ学習に取り組む。</p> <p>○税金の種類やその使い道について調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「財務省キッズコーナー」を使い，必要な情報を調べる。 <p>4 調べたことを発表する。</p> <p>○税金にはどのような種類がありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税，住民税，所得税，固定資産税，法人税，酒税，入湯税 <p>○税金の使い道にはどのようなものがありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障（年金，医療費，福祉） ・国債費（国の借金） | <p>○税金とは何かを考えさせ，自由に多くの意見を発表させることで，税金についての関心を高めさせていく。また，教師との話し合いの中から，課題意識をもたせていく。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>○「財務省キッズコーナー」のサイトを使用させ，税金の種類や使い道について一人一人に調べさせる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>※「財務省キッズコーナー」</p> <p>○全体で発表させることで，考えを共有させる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> |

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・地方交付税交付金 ・教育や科学技術 ・公共事業 <p>5 税金を納める義務について考える。</p> <p>○「なぜ税金を納めなければならないのか」自分の考えを書き、発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の生活を守るため ・安心して暮らせるように ・税金は国民の会費だから <p>6 授業で学んだことや考えたことを発表する。</p> |  <p>○考え付かない児童には、「もし税金が無かったら国民の生活はどうか」を考えさせることで、税金がいかに大切な働きをしているのかに気付かせる。</p> <p>○学習感想を発表させる。</p> |
|---|--|

7 授業後の児童の感想

- ・税金が無いと、公共サービスが無くなってしまいます。例えば、今は救急車を呼んだら無料で乗って病院に運んでもらえるけれど、救急隊員から「1回のご利用につき〇〇円かかります。先にお支払いをお願いします。」と言われたら困ってしまう。だから、税金は私たちの生活にとってとても大切なものだと思う。
- ・公共施設は、私たちの税金でつくられているため、税金を納めなければ学校や公園が無くなるなど、何かと不便になる。税金は、病院、学校、道路など私たちの生活に欠かせないものをつくるために納める必要がある。
- ・自分たちが税を払うことによって、公共施設が整い、不自由なく暮らせる。つまり、払っているのは自分たちのため、税金を払わなかったり、無かったりすると生活が不便になる。

8 実践を振り返っての成果と今後の課題

実践の成果は、税金の種類や集め方など、税の仕組みについての調べ学習に取り組みせる際に「財務省キッズコーナー」を活用したことで、児童は税について深く学びを進めることができた。そして、納税することがいかに大切であるかを考えることができた。

今後の課題は、税に関する指導計画を年間指導計画により明確に位置付けていかなければならないと考える。

